

17. ソナデジ 科学技術 & マネジメント 短期大学の学生たち



newsletter

日本へ来たてのフタシ

今回は、ベトナムのソナデジ科学技術&マネジメント短期大学と日本企業との連携プログラムで来日し、スキー場のレストランでインターンシップを行っている学生たちにお話を伺いました。インタビューには、ソナデジ科学技術&マネジメント短期大学日本語講師のファム・ヴ・フエン・チャン先生のご協力をいただきました。

チャン先生は、実習中の学生たちと月1回の面談を行い、経験を共有したり、お互いに学び合える場を作っています。先生の熱意と献身的なサポートのおかげで、学生たちはとても貴重な実体験を積むことができています。





規律ある生活と勤勉さに感動

日本に来てから、日本人の生活の規律や真面目さをより実感しています。私の職場のマネージャーは70歳過ぎの高齢の方なのですが、毎朝5時に起きて、朝食をとって6時には職場に来られます。勤務が終わるお昼の12時までずっと一生懸命働いています。年齢に関係なく、仕事に対して情熱的な姿にとっても感動しました。

同じスケジュールの繰り返しでも、明るく楽しそうに働いていて、「身体が動くうちは働くんた」というような考え方があるのかもしれませんが。そういう姿勢を見て、すごく尊敬の気持ちが湧きました。(タン・フーンさん)

言葉の壁に苦勞した日々

来日直後、一番大変だったのはやはり言葉の壁です。仕事の指示を受けても、何を言われているのかすぐには理解できず、困ることが何度もありました。たとえば、「これをこっちに置いて」と言われても、よくわからず違う場所に置いてしまい、相手を不機嫌にさせてしまうこともありました。でも、そのあとでちゃんと現場に来て教えてくれて、少しずつ仕事にも慣れてきました。

このように、最初は失敗も多かったけど、まわりの人たちはいつも助けてくれて、ミスを繰り返さないよういろいろサポートしてくれます。

(タン・フーンさん)





"このような助け合いのある職場がとても好きです。相手にプレッシャーをかけるのではなく、共に学び合う雰囲気があって、本当に働きやすいです。"

日本の職場では、困ったときに周りの人がいつでも何度でもサポートしてくれると感じています。

忙しいときに私が少し焦ってしまっても、誰も怒ったり急かしたりせずに冷静に対応して手伝ってくれます。その後に「今日はここがちょっと足りなかったね」「こうするともっと良くなるよ」と優しくアドバイスをくれます。もちろん、Google翻訳を使って「今日はあまりうまくできなくてごめんなさい」と自分から伝えることもあります。

仕事中は、皆が作業のペースを崩さないように努力しています。私が焦ったりミスしたりしても、怒ったり責めたりしないので、緊張を生むことはありません。そして、仕事の後で一緒に反省をして、ミスを繰り返さないようにしています。

職場に親切な日本人のおじさんがいます。私は彼と一緒に働くのが大好きです。おじさんは、包丁の持ち方やネギをどのように早く正確に切るか、どのように料理を作るかなど、細かいことを教えてくれます。ただいろいろ教えてくれるだけでなく、とても優しくしてくれます。私からも積極的に手伝いを申し出ます。日本人の皆さんはとても忙しくて手が空いていることが少ないからです。彼らのやり方を見て、「これはこうやればいいですか」と尋ねたり、「手伝えることがあれば言ってください。」と積極的に申し出たりします。

このような助け合いのある職場がとても好きです。相手にプレッシャーをかけるのではなく、共に学び合う雰囲気があって、本当に働きやすいです。(タン・トゥイさん)



インターン先でのスキー体験

お休みの日には、よくスキーを楽しんでいます。何回滑ってもそれほど疲れませんが、転ぶとけっこうしんどいです（笑）。でも、インストラクターがバランスの取り方を優しく教えてくれるし、転びそうなときはちゃんとサポートしてくれるから安心です。スタッフの方々もとてもフレンドリーで楽しいです。（フオン・アインさん）

ただ、転んだ直後は平気でも、次の日の朝になると体が痛くて、仕事に行けなかったこともありました。（タイン・チュックさん）

あなたへのヒント

皆さんの体験談からわかるのは、日本で働いたり学んだりするには「自分から動くこと（積極性）」がとても大切だということです。

日本に来たばかりの頃は、相手の日本語が理解できないことも多いですが、そんな時は聞き返す・確認することがミスを減らすカギになります。それが相手への配慮にもなります。

たとえばトゥイさんのように、自分から「教えてください」と声をかけることで、良い印象を与えるだけでなく、仕事の理解も深まっています。





国際交流基金が作成した日本語学習のためのドラマ「スアン日本へ行く！」の第2話で、スアンが指導員の言葉を聞き取れなかったシーンも出てきます。そんな時にスアンがどう対応したのかは、皆さんにとっても参考になるヒントがあるかもしれないので、是非ご覧ください。

このドラマは、

「<https://www.hikidasu.jpf.go.jp/>」というサイトで公開されており、全24話がアップロードされています。各エピソードでは、日本での実際の会話に役立つヒントが紹介されています。もし日本語を学んで、自分の会話力を向上させたいと思っているなら、ぜひ参考にしてみてください。

*「スアン日本へ行く！」は国際交流基金が作成した日本語学習番組「ひきだすにほんご」のコーナーの一つです。

